

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社サンドラッグ（証券コード：9989）

【据置】

長期発行体格付 A +
格付の見通し 安定的

格付事由

- (1) 首都圏を中心に全国展開するドラッグストア（DgS）大手。「サンドラッグ」「星光堂」などを運営するDgS事業に加え、九州を地盤に「ダイレックス」を運営するディスカウントストア（DS）事業も手掛けている。16年12月末の店舗数はグループ全体で1,048店舗（16年3月末1,027店舗）、内訳はDgS事業817店舗（同806店舗）、DS事業231店舗（同221店舗）であり、両事業とも増加傾向にある。
- (2) DgS業界では業態の垣根を越えた競争が激化している。その中で当社は新規出店や食品販売の強化、光熱費など経費の削減を進めており、DgS事業の収益は堅調に推移するとみている。DS事業では店舗網の拡大、食品や医薬品販売の強化などを進めていくことで、収益増加が見込まれる。新規出店および店舗改装を継続的に実施していく方針だが、キャッシュフロー創出力からみて、良好な財務構成は今後も維持されると考える。以上を勘案し、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) DgS事業では、インバウンド関連商品のまとめ買い需要の減少が既存店売上高にマイナスの影響を及ぼしている。ただ、今後は店舗改装やスクラップ&ビルドなどの効果により、徐々に改善に向かうとみている。今後、コンビニエンス型DgSや食品強化型郊外店舗といった新業態の本格展開により、出店ペースが加速していくのが注視していく。DS事業では、東日本への店舗網拡大およびDgS事業との融合店の展開が今後の成長にとって重要と考える。
- (4) 17/3期は売上高5,280億円（前期比4.8%増）、営業利益342億円（同3.6%増）と2期連続の増収増益の計画である。DgS事業の既存店売上高の改善状況、出店計画の進捗状況などが注目される。18/3期も新規出店、改装効果などにより、堅調な業績推移が見込まれる。17/3期第3四半期末の自己資本比率59.5%など財務諸指標は良好である。現状、大型の投資計画はなく、フリーキャッシュフローはプラスで推移すると予想される。

（担当）千種 裕之・大塚 浩芳

格付対象

発行体：株式会社サンドラッグ

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2017年2月13日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：島田 卓郎
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「小売」（2011年7月13日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社サンドラッグ
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル